令和６年度

# 事　業　報　告　書

公益財団法人群馬県産業支援機構

# 目　　次

Ⅰ　概要　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　1

Ⅱ　事業の概要
１．経営支援　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　3
（１）経営資源強化対策事業
（２）よろず支援拠点事業
（３）地方創生起業支援事業
（４）中小企業活性化協議会事業
（５）事業承継・引継ぎ支援センター事業
（６）プロフェッショナル人材戦略拠点事業
（７）中小企業外国出願支援事業
（８）情報整備発信事業
（９）ネットワーク交流促進支援事業
２．上海事務所運営　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　9
（１）上海事務所運営事業
３．取引開拓支援　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　9
（１）下請取引あっせん事業
（２）マッチング支援事業
４．ものづくり技術・産学連携支援　・・・・・・・・・・・　１２
（１）新成長分野への挑戦の支援
（２）デジタル化支援による生産性向上
（３）ものづくり人材育成事業
（４）国・県の競争的資金獲得等の伴走支援
５．その他　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１７
（１）機構管理運営
（２）設備導入資金債権管理

# Ⅰ　取組概要

我が国経済は、アフターコロナの段階的な進展のもと、個人消費やインバウンド需要の回復により緩やかな回復基調が続いた一方、エネルギー・原材料価格の高止まりや、世界的な金融引き締めの影響、為替の変動など、依然として不透明感の強い状況が続きました。

とりわけ、米国による自動車など一部製品への追加関税措置の動向は、国際的な通商環境に影響を及ぼしており、輸出関連産業を中心に先行きへの警戒感が広がりました。また、地政学的リスクの高まりや中国経済の減速なども、日本企業の経営環境に複合的な影響を与えています。

群馬県においても、こうした外部環境の変化に加え、中小・小規模事業者が直面するデジタル化の加速、脱炭素対応、労働力不足、円安によるコスト増など、多様化・複雑化する経営課題が顕在化しています。昨年度までの主要な経済指標では、県内経済は持ち直しの傾向が見られ、製造業・非製造業ともに一定の底堅さが示唆されていましたが、外部環境の変化もあり今後も注意を払うことが求められます。

当機構では、これらの状況を踏まえ、地域企業の持続的成長に向けて、経営と技術の両面からの総合的な伴走支援に努めました。国・県・支援機関等との連携を一層強化するとともに、専門人材の活用やワンストップ支援体制の拡充を図り、多様な経営課題に対応した効果的な支援を推進しました。

## （重点事項に対する取組）

## 1　生産性の向上と高付加価値化の推進

社会・経済の変化や人手不足が進む中、県内企業の生産性向上や新分野参入、人材確保を支援するため、３事業（スマートファクトリー創出支援、次世代モビリティ産業参入支援、プロフェショナル人材戦略拠点）をはじめとして、生産性向上、新分野参入、人材確保に向けた支援を実施しました。

① スマートファクトリー創出支援では、企業への訪問支援や専門家派遣、ロボット活用の提案、ＤＸ系人材育成講座の開催などを行い、現場のデジタル化を推進しました。

② 次世代モビリティ産業参入支援では、専門コーディネーターによる相談対応やEV車の購入・活用した技術理解支援、関連講座・展示会の開催

により、産業転換への対応を支援しました。

③ プロフェッショナル人材戦略拠点では、新たにＤＸ系専任スタッフを配置し、企業へのデジタル人材活用支援や副業・兼業人材に関するセミナーを実施するなど、攻めの経営を支える人材確保を支援しましました。

## ２　新商品・新技術、新分野開拓などのチャレンジ支援

産業構造の転換期を迎える中、新たな製品・技術の開発や成長分野への進出に意欲的な企業を後押しするため、各種支援を実施しました。

① 次世代モビリティ産業参入支援事業では、EV 化など業界の構造変化を見据え、専門人材が技術動向の把握や新分野参入の伴走支援を行いました。

② カーボンニュートラルに向けた自動車部品サプライヤー事業転換支援事業では、環境対応を切り口とした企業の方向転換を支援し、展示会出展やセミナー等を通じて新たな事業機会の創出を図りました。

③ ビジネスサポート BASE ぐんまでは、経営課題に応じた個別支援を行い、計画の具体化やブラッシュアップをサポート。加えて、経営力強化スクールを通じて、次の一歩を踏み出す人材と企業づくりを推進しました。

## ３　関係機関との連携強化及び相談環境の向上

企業支援の実効性を高めるため、関係機関との密接な連携と、誰もが相談しやすい環境づくりが不可欠であり、当機構ではその両面にわたる取組を進めてきました。

信用保証協会、行政書士会、中小企業診断士協会、弁護士会との連携協定や覚書の締結に加え、新たに第一生命保険と包括連携協定を結び、幅広い企業の声を吸い上げる体制を構築しました。新たなネットワークを活用し、これまで接点の少なかった層への支援を加速する体制が確立できました。

また、令和６年４月には、東毛地域の支援体制を強化するため「おおたブランチ」を開設。加えて、Wi-Fi 環境の整備など、来訪者の利便性向上にも努め、より使いやすい相談体制の整備を図りました。

## Ⅱ　事業の概要

### １．経営支援

| 決算額 | 449,562 千円(前年度 468,601 千円) |
|---|---|

#### （1）ビジネスサポートＢＡＳＥぐんま（経営資源強化対策事業）

中小企業支援に係る県域プラットフォームの代表機関として、創業・経営戦略・経営革新・販路戦略など経営全般の課題を解決するため、マネージャー４名(4 名のうち 1 名は 4 月～10 月、もう 1 名は 10 月～3 月)を配置して相談に応じ伴走支援しました。

○相談実績（相談内容延べ件数）

| 内　容 | 件数 | 構成比 | 内　容 | 件数 | 構成比 |
|---|---|---|---|---|---|
| ﾋﾞｼﾞﾈｽﾌﾟﾗﾝ | 427 | 24.9% | 経営改善 | 25 | 1.5% |
| 創業 | 212 | 12.4% | 人材育成・労務 | 16 | 0.9% |
| 経営戦略 | 558 | 32.5% | IT(情報技術) | 10 | 0.6% |
| 財務・資金 | 184 | 10.7% | 技術・特許 | 14 | 0.8% |
| 会社設立 | 16 | 0.9% | ＢＣＰ | 2 | 0.1% |
| 経営情報提供等 | 85 | 5.0% | 法律 | 5 | 0.3% |
| 販路 | 145 | 8.4% | 海外展開 | 1 | 0.1% |
| 事業承継 | 16 | 0.9% | 計 | 1,716 | 100% |
| | | | | (前年度 1,732 件) | |

○経営革新計画の推進

中小企業等経営強化法に基づく「経営革新計画」について、ビジネスサポートＢＡＳＥぐんまにて、ブラッシュアップ・事前チェック等をマネージャーが支援しました。また、専門家派遣を実施し、策定支援及び、フォローアップ支援を行いました。

ア　経営革新計画専門家派遣　１社　１回
　　創業支援専門家派遣　　１社　３回

#### （2）よろず支援拠点事業

地域の各種支援機関と連携しながら、中小企業・小規模事業者が抱える売上拡大や経営改善等の経営課題に対してコーディネーターが相談対応しました。

また、支援機関・専門家等と連携体制を強化するとともに支援機関に支援モデル・ノウハウ等を提供し、支援機関のスキルアップを応援しました。

ア　体制（R7.3.31 時点）

チーフコーディネーター　１名

サブチーフコーディネーター　　１名

コーディネーター　　２２名　計２４名（前年度計２６名）

イ　相談対応件数　　１２，９５１件(前年度 14,186 件)

※相談企業数　　１，８００社(前年度 1,646 社)

○相談実績（相談内容延べ件数）

| 内　容 | 件数 | 構成比 | 内　容 | 件数 | 構成比 |
|---|---|---|---|---|---|
| 経営知識 | 3,646 | 28.1% | IT 活用(内部管理) | 361 | 2.8% |
| 施策活用 | 1,151 | 8.9% | 法律 | 241 | 1.8% |
| 広報戦略 | 1,569 | 12.1% | 現場改善・生産性向上 | 151 | 1.2% |
| 広告デザイン | 830 | 6.4% | 商品デザイン | 139 | 1.1% |
| 事業計画策定 | 1,005 | 7.8% | 知的財産 | 73 | 0.6% |
| IT 活用(情報発信) | 1,142 | 8.8% | 事業連携 | 27 | 0.2% |
| 資金繰り | 629 | 4.9% | 地域資源活用 | 13 | 0.1% |
| 商品開発 | 392 | 3.0% | 海外展開 | 20 | 0.2% |
| 販路提案 | 508 | 3.9% | 債権保全･債権回収 | 15 | 0.1% |
| 市場設定 | 270 | 2.1% | その他 | 100 | 0.8% |
| 雇用労務 | 406 | 3.1% | 計 | 12,951 | 100% |
| 市場調査 | 263 | 2.0% | | （前年度 14,186） | |

ウ　成長を目指す中小企業への伴走支援　　５社(前年度７社)

エ　セミナー・出張相談・勉強会等開催　２０８回(参加者 1,293 名)

【内訳】

○セミナー１１回（参加者 189 名）

| 主なセミナー名 | 開催日 | 会　場 | 参加者 |
|---|---|---|---|
| 令和 6 年度「プレスリリースセミナー」 | R6.5.16 | 産業技術センター | ４７名 |
| 第 1 回「働き方改革セミナー」 | R6.9.19 | 群馬県交通運輸会館 | １９名 |
| 「よろず支援拠点特別セミナー」 | R6.11.29 | 桐生信用金庫 | １３名 |

○出張相談　１１１回（参加者：394 名）

（内訳）金融機関　　４２回（参加者：171 名）

商工会議所・商工会　５３回（参加者：149 名）

よろず・群馬県ほか　１６回（参加者：　74 名）

○勉強会　　５３回（参加者：471 名）

※売上拡大、人手不足対策、価格転嫁交渉、ChatGPT（生成 AI)、Canva(ネットデザインサイト)等をテーマとした少人数勉強会を開催。

○研究会　　３回（参加者： 29 名）
※プレスリリース研究会を開催。
○イベント（高崎・桐生サロン）３０回（参加者：210 名）
※価格転嫁交渉、Instagram 活用法、WEB マーケティング等を
テーマとした勉強会・相談会を兼ねたイベントを開催。

| 「おおたブランチ」活用件数 | |
|---|---|
| （1）ビジネスサポートＢＡＳＥぐんま | １７４件 |
| （2）よろず支援拠点事業 | ９４１件 |
| 計 | １，１１５件 |

■２事業総相談数：　１４，６６７件　　おおたブランチ活用率　　７．６％
■相談内容では経営戦略・知識における件数が４６８件と最も多く、次いで事業計画（ビジネスプラン）が１４０件であった。

## （3）地方創生起業支援事業

県の定めた対象分野で地域の課題解決に取り組む社会的事業者として起業する者に対し、起業に必要な経費の一部を補助しました。

また、市町村や地域支援機関等と連携した伴走支援を行い、社会的事業における効果的な起業を促進しました。

○起業支援金の補助　１０者(前年度２１者)
（最大 2,000 千円補助率 1/2）

○支援実績

| 事業年度 | 応募者 | 採択者 | 辞退者 | 補助金交付者 |
|---|---|---|---|---|
| H31(R1) | 40 | 33 | 7 | 26 |
| R2 | 70 | 34 | 3 | 31 |
| R3 | 55 | 35 | 4 | 31 |
| R4 | 74 | 32 | 2 | 30 |
| R5 | 66 | 29 | 8 | 21 |
| R6 | 45 | 10 | 0 | 10 |
| 計 | 350 | 173 | 24 | 149 |

## （4）中小企業活性化協議会事業

産業競争力強化法に基づく認定支援機関として、経営の継続が厳しい状況にある中小企業の収益力改善・事業再生・再チャレンジを支援しました。

### ① 再生計画の策定支援

中小企業からの相談に対し、経営上の問題点や具体的課題を抽出して、状況に応じた適切な助言や支援策の検討を行いました。再生が見込まれ

る企業については、金融機関等と調整を図りながら、外部専門家（公認会計士、中小企業診断士等）による個別支援チームを編成し、再生計画策定を支援しました。

○相談実績

| 内　容　別 | | 業　種　別 | |
|---|---|---|---|
| 収益力改善 | ２１件 | 製　造　業 | ４８件 |
| 通 常 再 生 | １２１件 | 卸・小売業 | ２５件 |
| | | 建　設　業 | １５件 |
| | | 運　輸　業 | ９件 |
| | | 飲　食　業 | ８件 |
| | | サービス・その他 | ３７件 |
| 計 | １４２件<br>（前年度129件） | 計 | １４２件<br>（前年度129件） |

○再生計画策定支援開始　２８件

○再生計画策定完了　　３６件（越年案件含む）

### ② 経営改善計画の策定支援

中小企業・小規模事業者の経営改善を図るため、認定支援機関が経営改善計画･早期経営改善計画の策定を支援する費用及びフォローアップ費用の一部を負担して経営改善を促進しました。

○上限額　　早期　200 千円、一般 2,000 千円　補助率 2/3

○実績

| 内　容 | 早　期 | 一　般 | 計 |
|---|---|---|---|
| 相 談 件 数 | ２９件 | １２５件 | １５４件（前年度193件） |
| 利用申請件数 | １１件 | ６２件 | ７３件（前年度 79件） |
| 計画策定完了 | １１件 | ７２件 | ８３件（前年度 77件） |
| モニタリング | １６回 | ４５６回 | ４７２回（前年度349回） |

## （５）事業承継・引継ぎ支援センター事業

産業競争力強化法に基づく認定支援機関として、中小企業・小規模事業者の円滑な事業承継・引継ぎを支援しました。

### ① 事業引継ぎ（第三者承継・M&A）支援

後継者未定又は不在の中小企業者に対し、多種多様で、事業内容や課題も地域性が強いという中小企業の特性を踏まえ、各地域の関係機関や専門家等と連携し、中小企業者の円滑な事業承継・引継ぎを支援しました。

また、小規模事業者の事業引継ぎを円滑に進めるため、起業・創業者とのマッチングを行う後継者バンク事業を行いました。

ア　相談実績

| 内　容　別 | | 業　種　別 | |
|---|---|---|---|
| 譲渡希望(売り) | １２６件 | 製　造　業 | ７１件 |
| 譲受希望(買い) | １１５件 | 卸・小 売業 | ５１件 |
| その他 | ８７件 | サービス業 | ５０件 |
| | | 飲食・宿泊業 | ４４件 |
| | | 後継者バンク（創業希望者） | ４２件 |
| | | その他 | ７０件 |
| 計 | ３２８件（前年度315件） | 計 | ３２８件（前年度315件） |

イ　成約件数　　３６．５件（前年度 31 件）

ウ　後継者バンク　事業所２７社　起業・創業者４６人　成約１３件

**② 事業承継（親族内承継）支援**

事業承継ネットワークの構成機関と連携して、事業承継の課題や支援ニーズを抱える企業を掘り起こし、相談対応により課題の整理を行うとともに専門家派遣による事業承継計画を策定し、親族等への円滑な承継を支援しました。

また、構成機関・登録専門家等に対し、事業承継支援に必要な知識を身につけるための研修を行いました。併せて、事業承継計画作成や後継者バンク等の事業を活用した後継者、若手経営者を対象に、経営に当たり必要となる知識・能力を高めるため、よろず支援拠点とも連携して次世代経営者の育成に努めました。

ア　相談対応件数　　８６件（前年度　　80 件）

イ　計画策定件数　　２７件（前年度　　26 件）

ウ　事業承継診断実施　２，６３９件（前年度　3,638 件）

（事業承継ネットワーク構成機関の実施総数）

エ　事業承継ネットワーク会議、意見交換会等　３回　参加者１５０名

**（6）プロフェッショナル人材戦略拠点事業**

成長力の高い中堅・中小企業の新事業展開、新商品開発や新規販路開拓等の新たな攻めの経営実現のため、大企業等において専門的な技術や知識等を習得した優秀な外部人材を活用して課題解決を図れるよう、企業の成長戦略を具現化して行くプロフェッショナル人材の採用を支援するとともに、副業・兼業の活用を支援しました。また、新たに DX 系専任スタッフを配置し、デジタル人材活用支援にも取り組みました。

ア　マネージャーの配置　４名

イ　相談対応件数

| 相　談　件　数 | | 業　種　別 | |
|---|---|---|---|
| 製造力強化 | １０６件 | 製 造 業 | １４５件 |
| 経営ｻﾎﾟｰﾄ強化 | ７１件 | 建 設 業 | ３４件 |
| 新事業展開・販路開拓 | ３７件 | サービス業 | １９件 |
| 新技術開発 | ３件 | 卸・小売業 | １５件 |
| その他 | ３３件 | 運 輸 業 | １１件 |
| (うち人材取次) | （１３９件) | そ の 他 | ２６件 |
| 計 | ２５０件<br>(前年度245件) | 計 | ２５０件<br>(前年度245件) |

ウ　成約件数　６５件(前年度 35 件)

## （7）中小企業外国出願支援事業

優れた技術力や製品について海外展開を図る中小企業等に対し、外国への特許等の出願に必要な経費の一部を補助することにより、国際競争力の強化を支援しました。

ア　上限額　300～1,500 千円、補助率１／２

イ　採択件数　７件：特許３件、商標４件、意匠０件
　　（前年度５件：特許０件、商標５件、意匠０件）

ウ　補助金交付額：３，９０５千円（昨年度：1,006 千円）

## （8）情報整備発信事業

メールマガジン(G-BOSS)を月２回の定期配信及び臨時配信により令和６年度は計２９回配信し、各種支援情報、公募情報、イベント情報など中小企業等の経営に役立つ情報をタイムリーに提供しました。

○Ｇ－ＢＯＳＳメール登録数　３，６６０件（令和６年度末現在）

## （9）ネットワーク交流促進支援事業

幅広い業種を対象として企業間の新たな連携と交流を図るぐんま産業創造倶楽部と当機構が実施する各種事業との連携・協力によって、県内企業の活性化を推進しました。

○会 員 数　１７８(一般会員１４６、賛助会員３２)

○主な活動　・世話人会(令和６年４月２６日、令和６年１２月１６日)
・全体会・フォーラム・交流会（令和６年７月１９日）
講師　ぴあ㈱　代表取締役　矢内　廣 氏
・トップセミナー（令和６年１２月１６日）
講師　二輪・自動車評論家　宮城　光 氏

・現場勉強会（令和７年２月２７日）
視察先　栃木県　㈱資生堂 那須工場
東芝ライテック㈱ 鹿沼工場

## ２．上海事務所運営

| 決算額 | 29,968 千円(前年度 28,951 千円) |
|---|---|

### （１）上海事務所運営事業

県の国際戦略の推進に向けた海外拠点として、中国・上海市に開設した上海事務所では、進出している県内企業や近隣自治体との連携強化や現地情報の収集と効果的な情報発信などの取組を実施しました。

## ３．取引開拓支援

| 決算額 | 15,141 千円(前年度 11,520 千円) |
|---|---|

### （１）下請取引あっせん事業

#### ① 受注・発注企業の紹介・あっせん

国内のコスト競争や景気変動の影響を受けやすい下請中小企業の安定した受注確保のため、職員やものづくり販路支援コーディネーターが県内外大手・中堅企業を積極的に訪問し、発注ニーズの掘り起こしや県内受注企業のＰＲを行い、新規取引先開拓や新分野への進出を支援しました。

また、県内大手・中堅企業を対象とした県内主要企業生産動向調査を実施し、今後の動向等を把握するとともに県内受注企業へ有効な情報提供等を行いました。

○受発注企業登録状況（令和６年度末現在）

発注企業:１，３１５社､うち新規登録:７１社

受注企業:３，００３社､うち新規登録:６４社

○相談実績

| 区　分 | 件　数 |
|---|---|
| 取引あっせん相談関係 | １，２７３件 |
| 経営関係 | ３０５件 |
| その他 | ２６件 |
| 計 | １，６０４件<br>(前年度１，５６１件) |

※下請取引に関する相談や付随する経営等に関する相談を集計

○あっせん実績

| 区　分 | 件　数 ／ 金　額 |
|---|---|
| あっせん紹介件数 | ４１０件(前年度３５２件) |
| あっせん成立件数 | ５２件(前年度　３２件) |
| 当初成立金額 | ７２,８１５千円(前年度４３,１８０千円) |

○訪問企業数

| 訪　問　者 | 訪問企業 | 全　体 | | |
|---|---|---|---|---|
| | | 県内 | 県外 | 計 |
| ものづくり販路支援コーディネーター | 発注企業 | ９５ | １６ | １１１ |
| | 受注企業 | ３８７ | － | ３８７ |
| | 計 | ４８２ | １６ | ４９８ |
| 職　　員 | 発注企業 | １５ | １１ | ２６ |
| | 受注企業 | ５５ | － | ５５ |
| | 計 | ７０ | １１ | ８１ |
| 合　計 | 発注企業 | １１０ | ２７ | １３７ |
| | 受注企業 | ４４２ | ０ | ４４２ |
| | 計 | ５５２ | ２７ | ５７９<br>(前年度５８３) |

**② 提案型企業の育成**

企画提案書や事業計画立案の支援を行うとともに、具体的な商談をとおして提案型企業の育成に努めました。

提案型企業育成数：６社

**③ 下請かけこみ寺事業**

下請代金の未払いや取引上の苦情・紛争に対して、連携する(公財)全国中小企業振興機関協会の相談員が駐在して対応しました。

また、公正取引委員会等と連携した下請取引適正化講習会などの普及啓発によりトラブルの未然防止に努めました。

○相談対応件数（うち、弁護士対応なし）

| 業　種　別 | | 内　容　別 | |
|---|---|---|---|
| 製造業 | ５５件 | 契約上のトラブル | ２４件 |
| 建設業 | ５１件 | 法令解釈 | １４件 |
| ｻｰﾋﾞｽ業等 | １０５件 | その他(代金未払等) | １７３件 |
| 計 | ２１１件<br>(前年度１９６件) | 計 | ２１１件<br>(前年度１９６件) |

○ 下請法セミナー（全国中小企業振興機関協会連携）

| 開　催　日 | 会　場 | 開催回数 | 参加者 |
|---|---|---|---|
| 令和６年４月～<br>令和７年３月 | オンライン<br>セミナー | １４回<br>（前年度１５回） | ６０６名 |

## （２）マッチング支援事業

### ① 広域商談会の開催

県内中小企業の取引拡大を図るため、県外発注企業との商談の機会を提供する「関東５県ビジネスマッチング商談会」を開催しました。

茨城、栃木、埼玉、千葉の各県支援機関との共催ですが、今年度は幹事県として運営全般を担当しました。

| 開　催　日 | 会　場 | 内　容 |
|---|---|---|
| 令和６年９月６日 | 東京都立産業貿易ｾﾝﾀｰ浜松町館 | 発注企業　121 社(うち群馬　2 社)<br>受注企業　219 社(うち群馬　47 社)<br>商談件数 1,355 件(うち群馬 289 件)<br>成約件数　42 件(うち群馬　12 件) |

### ② 個別・合同商談会の開催

発注開拓等による県内外企業からの発注案件にタイムリーに対応し、対面やオンラインの活用により、県内中小企業に商談会等のマッチングの場を提供しました。

| 区　分 | 開催回数 | 発注企業 | 受注企業 | 商談件数 |
|---|---|---|---|---|
| 個別面談方式 | ４３回 | ４３社 | １０５社 | １０５件 |
| 提案型方式 | １２回 | １２社 | ６社 | １２件 |

### ③ 展示会出展支援

首都圏等で開催される展示会・商談会等に出展する県内企業を支援し、中小企業の優れた製品や技術力を広く紹介して販路拡大を支援するとともに本県産業の技術力をＰＲしました。

○テクニカルショウヨコハマ 2025

| 開　催　日 | 会　場 | 内　容 |
|---|---|---|
| 令和７年２月５日～<br>令和７年２月７日 | パシフィコ横浜 | 県内出展企業　　４社<br>商談件数　　４９０件 |

○ぐんま Ｔｅｃｈ ＥＸＰＯ 2024

| 開　催　日 | 会　場 | 内　容 |
|---|---|---|
| 令和６年１２月１８日～<br>令和６年１２月１９日 | ビエント高崎 | 県内出展企業 １５９社<br>商談件数 ９，０４６件 |

## ４．ものづくり技術・産学連携支援

| 決算額 | 78,777 千円(前年度 75,451 千円) |
|---|---|

### （1）新成長分野への挑戦の支援

#### ① 次世代モビリティ産業参入支援事業

電動車ティアダウン活動の企画・運営、デジタルエンジニアリング講座の企画・運営、経営幹部を対象にした勉強会の運営、技術マッチングの開催、電動化等に関するアンケート調査などを実施しました。

ア　コーディネーター等の配置　　３名（前年度３名）

イ　支援企業数　　３１２社（前年度２３９社）

ウ　電動車ティアダウン活動の企画・運営

○ＥＶ車の購入

| 納　車　日 | 購 入 車 両 | 車両価格 |
|---|---|---|
| 令和６年９月２５日 | Tesla「モデル３」(グレード：パフォーマンス) | 7,259,000 円<br>(税込) |

○電動車ティアダウンキックオフ説明会

| 開　催　日 | 会　場 | 参加者 |
|---|---|---|
| 令和６年１０月２日 | 群馬県交通運輸会館 | 企業数　２７社<br>参加者　５５名 |

○ＥＶ車貸出事業

| 貸出車両 | 貸出開始日 | 貸出費用 | 利用企業数 |
|---|---|---|---|
| Tesla「モデル３」 | 令和６年１０月２１日 | 無料 | １１社 |

○ＥＶ車「Tesla」注目技術解説会

| 開　催　日 | 会　場 | 参加者 |
|---|---|---|
| 令和６年１２月１３日 | 群馬産業技術センター | 企業数　４１社<br>参加者　６９名 |

エ　デジタルエンジニアリング講座の企画・運営

○ＣＡＥ基礎講座開催

| 講　座　名 | 開 催 日 | 会　場 | 参加者 |
|---|---|---|---|
| ＣＡＥ基礎講座<br>（樹脂射出成形向け） | 令和６年９月１９日～<br>令和６年９月２０日 | 群馬県ＪＡ<br>ビル | １４社<br>１９名 |
| ＣＡＥ基礎講座<br>（プレス成形向け） | 令和６年１０月９日～<br>令和６年１０月１０日 | 群馬県ＪＡ<br>ビル | １３社<br>２０名 |

○デジタルものづくり人材育成報告会・ＭＢＤ／ＣＡＥ最新技術展示会

| 開　催　日 | 会　場 | 参加者 | |
|---|---|---|---|
| 令和７年３月７日 | 群馬県交通<br>運輸会館 | 現地参加 | 企業数　３４社・団体<br>参加者　７４名 |
| | | オンライン参加 | 企業数　２２社・団体<br>参加者　３３名 |

オ　自動車サプライヤー勉強会開催　６回

| 講　座　名 | 開催日・内容 | 会　場 | 参加者 |
|---|---|---|---|
| 第５回勉強会 | 令和６年６月１８日<br>事業転換に対する取り組み・課題に関する講演、グループワーク | テクノプラザおおた | １１名 |
| マレリ㈱吉見工場・本田技研工業㈱埼玉製作所見学会 | 令和６年７月２５日 | マレリ㈱吉見工場・本田技研工業㈱埼玉製作所 | １２名 |
| 第６回勉強会 | 令和６年８月２２日<br>EV戦略セミナー講演内容解説、グループワーク | テクノプラザおおた | １１名 |
| 三洋貿易㈱瑞浪展示場・三菱自動車工業㈱岡崎製作所見学会 | 令和６年１１月８日 | 三洋貿易㈱瑞浪展示場・三菱自動車工業㈱岡崎製作所 | １３名 |
| 第７回勉強会 | 令和６年１１月２１日<br>共和産業㈱事業紹介」、グループワーク | 群馬県ＪＡ<br>ビル | ８名 |
| 第８回勉強会 | 令和７年２月１３日<br>「最終発表会」 | テクノプラザおおた | ７名 |

カ　技術マッチングの開催

〇㈱アイシンコムセンター・三洋貿易㈱瑞浪展示場見学会

| 開　催　日 | 視察先 | 参加者 |
|---|---|---|
| 令和６年１２月３日 | ㈱アイシンコムセンター・<br>三洋貿易㈱瑞浪展示場 | 企業数　１２社<br>参加者　１２名 |

〇群馬県新技術・新工法展示商談会　in AISIN

| 開　催　日 | 会　場 | 内　容 |
|---|---|---|
| 令和７年２月２０日～<br>令和７年２月２１日 | ㈱アイシン安城 PT<br>技術センター | 県内出展企業　３１社<br>商談件数 １，７５７件 |

キ　その他

〇セミナー開催

| セミナー名等 | 開 催 日 | 会　場 | 参加者 |
|---|---|---|---|
| 品質保証セミナー | 令和６年１２月１９日 | ビエント高崎 | ４５社<br>７６名 |

〇電動化等に関するアンケート調査

| 実施方法 | 送付先 | アンケート回収数 |
|---|---|---|
| 郵送 | 県内企業４９５社 | １６１社（回収率：32.5%） |

**② ＣＡＳＥ対応に向けた自動車部品サプライヤー事業転換支援事業(地域支援拠点運営事業)**

国の「ミカタプロジクト」の予算を活用し、セミナーや大手ティア１との展示商談会の実施及び大規模展示会へ出展支援、相談窓口の運営、専門家の派遣等を行いました。

ア　セミナー開催　３回

| セミナー等 | 開　催　日 | 会　場 | 参加者 |
|---|---|---|---|
| ＥＶ戦略セミナー | 令和６年６月２６日 | Ｇメッセ群馬 | ５１社<br>７９名 |
| ＣＡＳＥセミナー | 令和６年１２月１８日 | ビエント高崎 | ５５社<br>９３名 |
| 自動車サプライヤー経営者のための事業転換改革セミナー | 令和６年１２月９日<br>令和７年１月１６日<br>令和７年２月１４日 | 群馬県ＪＡビル | ８名 |

イ　大手サプライヤー展示商談会

| 開　催　日 | 会　場 | 内　容 |
|---|---|---|
| 令和６年１１月１４日 | （株）オティックス | 参加企業数　　１１社<br>商談件数　　３７２件 |

ウ　大規模展示会出展支援

〇オートモーティブワールド 2025

| 開　催　日 | 会　場 | 内　容 |
|---|---|---|
| 令和７年１月２２日～<br>令和７年１月２４日 | 東京ビッグサイト | 参加企業数　　１２社<br>商談件数　１，１２１件 |

エ　相談窓口設置　　相談件数１０件

オ　専門家派遣　　５社１０回

### ③ 航空産業参入等支援事業

航空産業への新規参入を積極的後押しするため国際規格の維持・取得や新規参入及び新規取引をサポートしました。

ア　研修（ＪＩＳＱ９１００内部監査員養成研修）

| 開　催　日 | 会　場 | 参加者 |
|---|---|---|
| 令和６年１２月１１日～<br>令和６年１２月１２日 | 群馬県ＪＡビル | １８名 |

イ　国際展示会出展（２０２４国際航空宇宙展）

| 開　催　日 | 会　場 | 内　容 |
|---|---|---|
| 令和６年１０月１６日～<br>令和６年１０月１９日 | 東京ビッグサイト<br>西２ホール | 県内出展企業　　６社<br>商談件数　　２６７件 |

### ④ 医療機器開発支援ネットワーク事業

医療機器の開発・事業化について、国、県、商工会議所等をメンバーとする医療機器開発支援ネットワークの地域支援機関として、関係機関と連携して支援しました。

## （２）デジタル化支援による生産性向上

### ① スマートファクトリー創出支援事業

専門コーディネーターを配置し、群馬産業技術センター及び同センター内に設置された「デジタルソリューションラボ」と連携し、ハンズオン等により製造業等のデジタル技術による生産性向上を支援しました。

また、社内のデジタル化推進に役立つセミナーを開催しました。

ア　コーディネーターの配置　２名

イ　導入支援先　　３６社（前年度３９件）

ウ　専門家派遣診断

ロボット導入支援専門家派遣診断　簡易診断６件、自動化診断１件

情報セキュリティ専門家派遣診断　簡易診断９件、強化診断　０件

エ　セミナー開催

| セミナー名 | 開　催　日 | 会　場 | 参加者 |
|---|---|---|---|
| AI活用で叶えるDX推進～AIモデルを活用して業務を効率化～ | 令和６年１２月１９日（ぐんまTech EXPO 2024内） | ビエント高崎 | ７７名 |

オ　人材育成研修

| 研　修　名 | 開　催　日 | 会　場 | 参加者 |
|---|---|---|---|
| ロボットＳＩ基礎講座 | 令和６年１０月２３日～令和６年１０月２５日 | Ｇメッセ群馬 | ２８名 |
| 社内ＤＸ推進プロジェクト人材育成研修 | 令和７年　２月１３日～令和７年　２月１４日 | 県交通運輸会館 | ２０名 |

カ　先進企業視察等情報収集

| 視　察　先 | 開　催　日 | 参加者 |
|---|---|---|
| (株)デンソーウェーブ、(株)水谷精機工作所、(株)明電舎 | 令和６年１１月２８日～令和６年１１月２９日 | １１名 |

## （３）ものづくり人材育成事業

中小製造業の新人社員を対象に、ものづくりの現場で必要とする知識を体系的に習得してもらい、現場への早期の適応をサポートしました。

○群馬ものづくり現場新人研修開催

| 開　催　日 | 会　場 | 参加者 |
|---|---|---|
| 令和６年４月　９日 | 群馬産業技術センター | ２４社・６９名 |
| 令和６年４月１０日 | 東毛産業技術センター | １４社・４５名 |

## （４）国・県の競争的資金獲得等の伴走支援

国や県の助成金を利用して生産性の向上や事業革新等を目指す中小企業等に対して、事業計画づくりの段階から補助金獲得、事業化まで、伴走支援しました。

○競争的資金獲得支援等（申請書作成、計画認定支援等）

| 補　助　金　名　等 | 支援件数 | うち採択件数 |
|---|---|---|
| (国)ものづくり･商業･ｻｰﾋﾞｽ生産性向上補助金 | １１ | 1 |
| (国)小規模事業者持続化補助金 | １１ | 4 |
| (国)ｻｰﾋﾞｽ等生産性向上ＩＴ導入補助金 | 9 | 1 |
| (国)事業再構築補助金 | ２２ | 4 |
| 計 | ５３ | １０ |

○公的支援制度認定等支援

| 認　定　等　支　援 | 支援件数 | うち認定件数 |
|---|---|---|
| 先端設備等導入計画・経営革新計画 | 6 | 4 |

## ５．その他

| 決算額 | 87,121 千円（前年度 88,514 千円） |
|---|---|

（１）機構管理運営

理事会・評議員会等の開催、人事・組織や財産・資金管理など公益法人としての適切な運営に当たりました。また、職員の支援能力を向上させるため、実務的な研修受講や個々人のスキルアップに努めました。

**ア　理事会の開催状況**

| 回　数 | 開催日 | 開催等 | 議案番号 | 件　　名 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 第 51 回 | 令和 6 年 6 月 5 日 | 群馬県 JAﾋﾞﾙ | 第１号<br>第２号<br>報　告 | 令和５年度事業報告及び決算について<br>定時評議員会の開催について<br>令和５年度収支予算の変更について<br>常勤理事の職務執行状況について<br>第６期中期計画の令和５年度実績について | 理事総数 9 名<br>出席理事 8 名 |
| 第 52 回 | 令和 6 年 6 月 24 日 | みなし決議 | 第１号<br>第２号 | 理事長、副理事長及び専務理事の選定について<br>役員等賠償責任保険の内容の決議について | 理事総数 11 名<br>同意理事 11 名 |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 第３号<br>～４号 | 責任限定契約の締結について | |
| 第 53 回 | 令和 7 年<br>3 月 25 日 | 群馬県<br>JAﾋﾞﾙ | 第１号<br><br>第２号<br><br>第３号<br><br>報　告 | 令和 6 年度収支予算の変更について<br>令和 7 年度事業計画及び収支予算について<br>評議員会招集の決定について<br>常勤理事の職務執行状況について<br>第 7 期中期計画について<br>評議員会招集の決定について | 理事総数<br>11 名<br>出席理事<br>8 名 |

**イ　評議員会の開催状況**

| 回数 | 開催日 | 開催等 | 議案番号 | 件　　名 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 第 33 回 | 令和 6 年<br>6 月 24 日 | 群馬県<br>JAﾋﾞﾙ | 第１号<br>第２号<br>～14 号<br>第 15 号<br>～23 号 | 令和 5 年度決算について<br>理事及び監事の選任について<br><br>評議員の選任について | 評議員総数<br>9 名<br>出席評議員<br>8 名 |

（２）設備導入資金債権管理

設備貸与事業及び県単リース事業の延滞債権の回収・整理を進めました。